

沖縄総合事務局 開発建設部 総合評価審査委員会
議事概要

開催日及び場所		平成22年7月6日(火) 沖縄総合事務局 4階 事業審査室	
委 員		委員長 浦辺 信一 (開発建設部長) 副委員長 根木 貴史 (港湾空港指導官) 委 員 津嘉山 正光 (琉球大学名誉教授) 委 員 有住 康則 (琉球大学工学部教授) 委 員 知花 包信 (港湾空港建設課長) 委 員 磯野 良樹 (管理課長) 委 員 平良 正光 (技術管理課長) 委 員 嶋倉 康夫 (石垣港湾事務所長) (代理出席 田港朝之施設整備係長)	
対象案件		総件数 9 件	(備考)
総合 評 価 方 式	簡易型	7 件	
	標準Ⅱ型	2 件	
	標準Ⅰ型	0 件	
	高度技術提案型	0 件	
			全対象工事9件(抽出審議1件)
		意 見 ・ 質 問	回 答
委員からの意見・質問、それに対する回答等		別紙のとおり	別紙のとおり
委員による審議結果の内容		上記について、発注方式、評価基準、評価結果等の説明を行い、原案通り了承された。	

(別 紙)

意見・質問	回 答
<p>○審査対象案件</p> <p>1. 一般競争入札 総合評価落札方式【簡易型】</p> <p>1) 那覇港湾・空港整備事務所金属屋根・外階段改修工事</p> <p>2) 那覇港浦添宿舍排水管改修工事</p> <p>3) 那覇港港川宿舍耐震補強工事</p> <p>4) 石垣港(新港地区)水中土砂処分場築造工事</p> <p>5) 石垣港(新港地区)水中土砂処分場築造工事(第2次)</p> <p>6) 平良港(本港地区)防波堤(下崎北)(第二)被覆ブロック工事</p> <p>7) 平良港(本港地区)防波堤(下崎北)(第二)被覆ブロック工事(第2次)</p> <p>2. 一般競争入札 総合評価落札方式【標準Ⅱ型】</p> <p>1) 石垣港(新港地区)防波堤(外)築造工事</p> <p>2) 平良港(漲水地区)岸壁(-7.5m)改良工事</p> <p>○抽出審議</p> <p>1) 石垣港(新港地区)防波堤(外)築造工事</p> <p>○ 競争参加資格要件の施工実績を求める場合、数量規定の根拠は何に基づいているのか。</p> <p>○ 施工計画の提案内容を満たす施工が行われない場合、提案毎に工事成績点を減じるのか。</p> <p>○ 競争参加資格要件の会社更生法に基づき更正手続きの申し立てについて、2社申し立て有りとなっているが、再認定を受けた者であるのか。</p> <p>○ 配置予定技術者の能力について、2社の技術者の施工経験の評価が低いがどうしてか。</p> <p>○ 施工計画の提案において、課題に対する提案項目の中で複数提案されているもので効果が発揮されれば、評価をしても良いのではないか。</p> <p>○ 施工計画の提案において、最近では一般的な施工と判断できるような提案項目も含まれているが、今後は見直す必要があるのではないか。</p>	<p>・ 港湾工事の特殊条件(海象条件等)や他事例を総合的に判断して、適切な工事規模を設定している。</p> <p>・ 提案項目毎に3点減じる。但し、減点の上限は10点とする。(入札説明書に記載している)</p> <p>・ 2社とも再認定を受けており要件を満たしている。</p> <p>・ 2社の配置予定技術者の工事経験が、県外の施工実績や担当技術者で申請しているため、低い評価となっている。</p> <p>・ 応募する社の公平を期するため、入札説明書で複数提案の場合は評価しないと明記している。</p> <p>・ 過去に評価された項目についても、昨今の普及状況や各現場状況を判断して対応していきたい。</p>